

1 高齢者施設の衛生用品不足への県の対応

(1) マスク

- 3月11日 県備蓄マスク 30,000 枚を放出（高齢者のみでなく、社会福祉施設全般へ送付）
市町村に対し備蓄マスクの放出を依頼
- 3月～4月上旬 国から再利用可能な布製マスクをすべての介護施設等へ配布
- 3月25日 令和2年度補正予算にて県で一括購入し、事業所へ配布するための予算を計上
- 4月10日 優先調達によるマスクを 30 万枚発注・4月中に市町村に届く予定
- 5月上旬 優先調達によるマスクを 30 万枚発注
今後も随時発注予定

(2) 消毒用アルコール

国の優先調達スキームにより、3月末から随時発注

- | | | |
|-------|-------------------------------|-------------|
| 3月16日 | 緊急分として 290ℓ発注（3/26 納品 すべて横浜市） | |
| 18日 | 2,680ℓ発注（全県対象） | } 現在国で配送準備中 |
| 4月1日 | 22,550ℓ発注（全県対象） | |
| 16日 | 国から5月不足分の必要量調査送付。現在市町村に調査中。 | |

また、国から高濃度アルコールの無償配布があり、3,672ℓについて現在国で配送準備中。

(3) その他

サージカルマスク、使い捨て手袋、使い捨てガウン、ゴーグルについては感染が発生した介護施設へ放出するため、コロナ対策本部と調整。